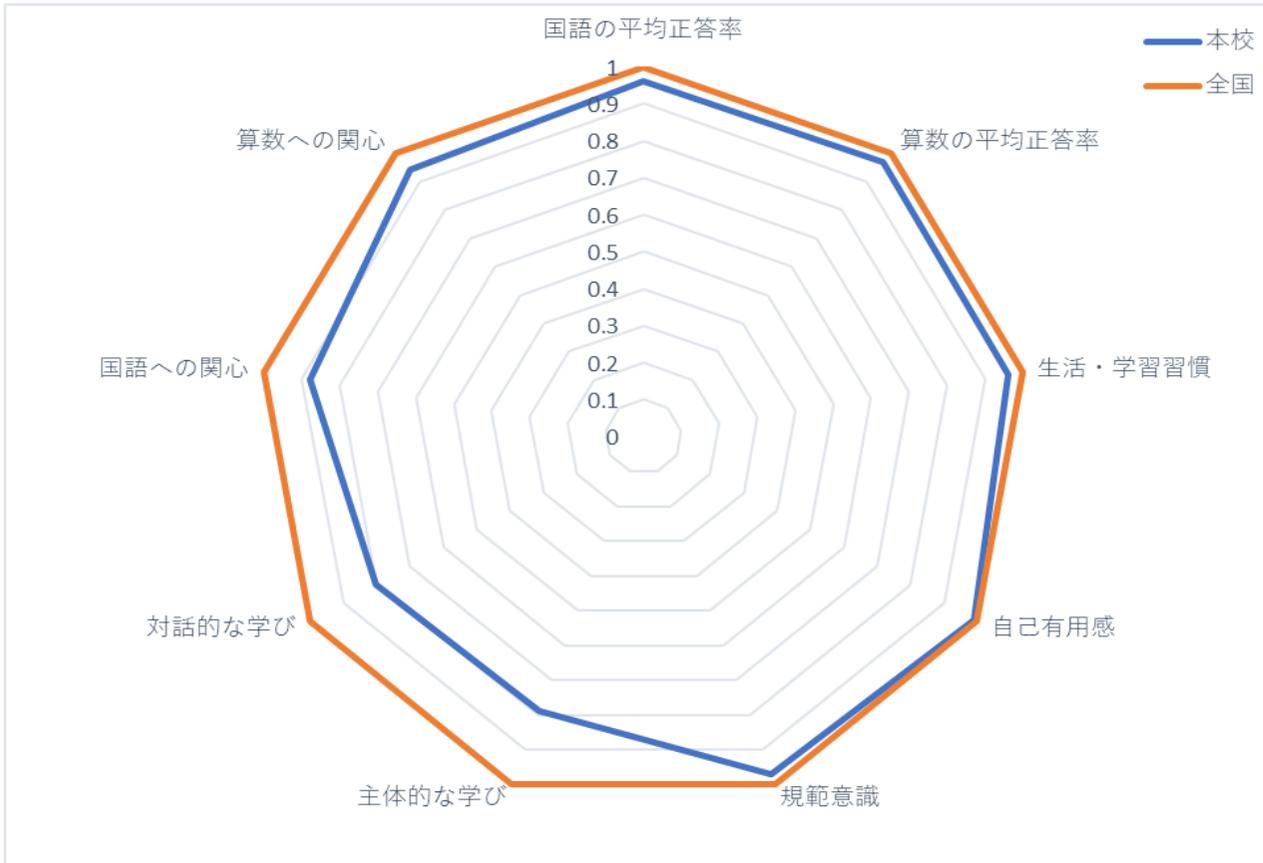


令和3年度全国学力・学習状況調査結果における課題分析表(小学校)

江戸川区立第四葛西小学校

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語は4%、算数は3%ほど全国平均を下回った。
- ・国語への関心が全国平均よりも12%下回った。これについては前回の調査でも同じような傾向があったが、今回は算数への関心も前回より下がり、6%ほど下回った。
- ・主体的な学び、対話的な学びについては、20%ほど全国平均より下回った。両者ともに前回の調査よりも数値が下がっている。

《授業改善のポイント》

- ・国語科では、生活と関連する課題を取り上げたり、自分の考えを深めていく楽しさを感じさせたりすることで国語への関心を高めていく。
- ・算数科では、習熟の時間を確保するとともに、単位を書く、公式や用語を覚えることなど、基礎・基本の定着を図る。
- ・総合的な学習、学級活動、道徳の授業などで、主体的に取り組む活動や対話的な活動を多く取り入れる。経験を多く積むことで成功体験を蓄積し、活動への意欲を高めていく。

《チャートの特徴》

- ・規範意識、自己有用感、生活・学習習慣についてはほぼ全国平均と同じ値である。
- ・国語、算数の正答率や、算数への関心は全国平均を少し下回る。
- ・国語科への関心、主体的な学び、対話的な学びが低い値を示している。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・eライブラリーなど、タブレットを活用した学習を取り入れることや宿題の精選など、家庭学習を工夫する。
- ・生活、学習習慣の安定と、自己有用感の醸成について、家庭、地域に働きかけ、連携して取り組んでいく。